


PORTABLE MOBILE TERMINAL EQUIPMENT CAPABLE OF TRANSFERRING DIA DATA

Patent number: JP11136763
Publication date: 1999-05-21
Inventor: SASAKI ATSUSHI
Applicant: NEC MOBILE COMM LTD
Classification:
 - international: H04Q7/38
 - european: H04M1/2745C; H04M1/275
Application number: JP19970300817 19971031
Priority number(s): JP19970300817 19971031

Also published as:

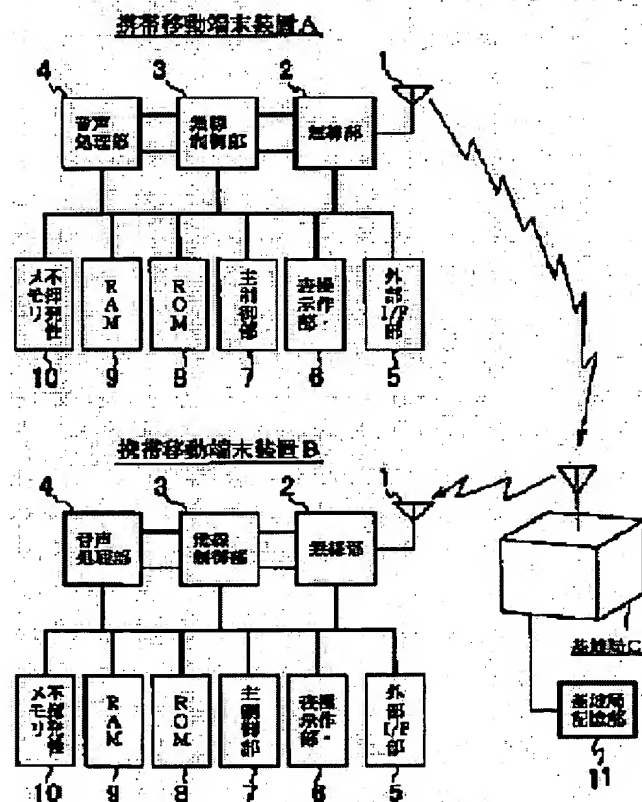
 US2001012789 (A)

Report a data error he

Abstract of JP11136763

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the dial data transfer efficiency, to secure the accuracy, to enhance the operability and the maintainability and to reduce the cost by using a substantial radio communication function of the portable mobile terminal equipment as it is so as to permit dial data transfer between the portable mobile terminal equipment. **SOLUTION:** A main control section 7 has a function of a dial data selection means that displays dial data stored in a nonvolatile memory 10 on an operation display section 6 according to a program stored in a ROM 8 and that allows the user to select optional dial data among the stored dial data.

Furthermore, a function of the dial data transfer means that controls a control section 2, so that the dial data selected by the main control section 7 are sent to an opposite portable mobile terminal equipment through radio transmission by the radio section 2 and are stored in its nonvolatile memory 10, is provided to a radio control section 3.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-136763

(43) 公開日 平成11年(1999)5月21日

(51) Int.Cl.⁶

H04Q 7/38

識別記号

FI

H04B 7/26

1.09M

1.09Q

H04Q 7/04

F

審査請求 有 請求項の数 2 OL (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-300817

(22) 出願日 平成9年(1997)10月31日

(71) 出願人 390000974

日本電気移動通信株式会社

横浜市港北区新横浜三丁目16番8号 (NEC移動通信ビル)

(72) 発明者 佐々木 篤志

神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目16番8号 (NEC移動通信ビル) 日本電気移動通信株式会社内

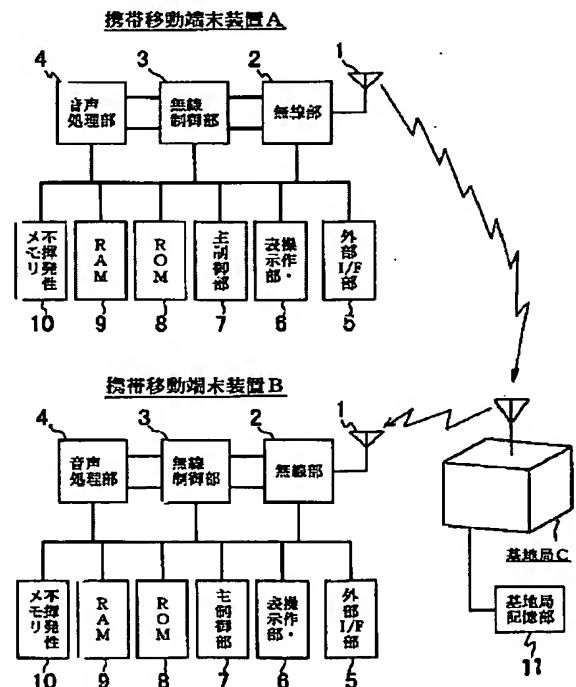
(74) 代理人 弁理士 原田 信市

(54) 【発明の名称】 ダイヤルデータ転送可能な携帯移動端末装置

(57) 【要約】

【課題】 携帯移動端末装置の本来の無線通信機能をそのまま利用して、携帯移動端末装置間でダイヤルデータの転送を可能とすることにより、ダイヤルデータ転送効率の向上と正確性の確保、操作性及び保守性の向上、並びにコストダウンが図れるようにする。

【解決手段】 不揮発性メモリ10に記憶されているダイヤルデータをROM8に記憶されているプログラムに従い操作・表示部6に表示させ、その中から任意のダイヤルデータを使用者に選択させるダイヤルデータ選択手段としての機能を主制御部7にもたせる。また、主制御部7で選択されたダイヤルデータを、無線部2による無線送信にて相手方の携帯移動端末装置へ送信してその不揮発性メモリ10に保存できるように、無線部2を制御するダイヤルデータ転送手段としての機能を無線制御部3にもたせる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】電話番号を入力して可視表示する操作・表示部と、これを制御する主制御部と、相手方と無線通信する無線部と、この無線部を制御する無線制御部とを備えた携帯移動端末装置において、ダイヤルデータを記憶する不揮発性メモリと、これに記憶されているダイヤルデータを前記操作・表示部に表示させ、その中から任意のダイヤルデータを使用者に選択させるダイヤルデータ選択手段と、選択されたダイヤルデータを、前記無線部による無線送信にて相手方の携帯移動端末装置へ送信してその不揮発性メモリに保存できるように、無線部を制御するダイヤルデータ転送手段とを備えたことを特徴とする、ダイヤルデータ転送可能な携帯移動端末装置。

【請求項2】ダイヤルデータ転送手段は、ダイヤルデータを、中継局である基地局において保存利用可能な形態にして無線部により無線送信することを特徴とする請求項1記載の、ダイヤルデータ転送可能な携帯移動端末装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は携帯移動端末装置に関し、特に、携帯移動端末装置間で無線通信によりダイヤルデータ（電話番号データ）の転送保存が可能なシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の携帯移動端末装置で、ユーザ同士が個々に蓄積したダイヤルデータを相互に交換又は教えるには、口頭にてその情報を読み上げ、相手がその情報を自己の端末を操作してメモリにいちいち登録していた。

【0003】そのため、情報交換したいダイヤルデータの件数が多くなればなるほど、互いに労力と時間を多く費やし、また聞き間違いや入力ミス等で結果的に誤情報を交換することも多かった。

【0004】また、従来において、携帯移動端末装置の修理等の保守作業の際には、保存データを退避させるために、図2に示すようにパーソナルコンピュータ等の外部装置50と転送用ソフトウェア51とを使用し、保守対象の携帯移動端末装置52と予備の携帯移動端末装置53との互いの外部インターフェース部54・55を外部装置50を介して接続し、保守対象の携帯移動端末装置52の不揮発性メモリ56に記憶されているダイヤルデータを、予備の携帯移動端末装置53の不揮発性メモリ57に一旦転送した後、修理完了後に後者の不揮発性メモリ57から前者の不揮発性メモリ56へ戻していた。

【0005】しかし、この場合には、保守用の設備として外部装置52と転送用ソフトウェア51が必要であり、保守費用のコストアップを招いていた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明の課題は、携帯移動端末装置の本来の無線通信機能をそのまま利用して、携帯移動端末装置間でダイヤルデータの転送を可能とすることにより、ダイヤルデータ転送効率の向上と正確性の確保、操作性及び保守性の向上、並びにコストダウンが図れるようにすることにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、電話番号を入力して可視表示する操作・表示部と、これを制御する主制御部と、相手方と無線通信する無線部と、この無線部を制御する無線制御部とを備えた携帯移動端末装置において、ダイヤルデータを記憶する不揮発性メモリと、これに記憶されているダイヤルデータを操作・表示部に表示させ、その中から任意のダイヤルデータを使用者に選択させるダイヤルデータ選択手段と、選択されたダイヤルデータを、無線部による無線送信にて相手方の携帯移動端末装置へ送信してその不揮発性メモリに保存できるように、無線部を制御するダイヤルデータ転送手段とを備えたことを特徴とする。

【0008】中継局である基地局との間において、特別番号が決められているときには、携帯移動端末装置のダイヤルデータを基地局の記憶部に保存できるようにするため、ダイヤルデータ転送手段は、ダイヤルデータを基地局において保存利用可能な形態にして無線部により無線送信する。

【0009】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態を図面を参照して詳述する。

【0010】図1において、発呼元の携帯移動端末装置Aと発呼先の携帯移動端末装置Bとは基地局Cを介して無線通信する。携帯移動端末装置A・Bは、それぞれ、アンテナ1、無線による送受信を行う無線部2、これを制御する無線制御部3、他の携帯移動端末装置との間又は公衆電話回線網等に接続されている電話機との間で基地局Cを経由して音声通信を行うための音声処理部4、外部装置と接続するための外部インターフェース部5、通話操作、ダイヤル操作、ダイヤルデータ登録操作、ダイヤルデータ転送操作等の各種の操作及びそれに基づく表示を行う操作・表示部6、装置全体を制御する主制御部7、そのための制御プログラムを記憶したROM8、作業用のRAM9、ダイヤルデータ等を保存する不揮発性メモリ10を有する。

【0011】主制御部7は、従来と同様の機能に加え、不揮発性メモリ10に記憶されているダイヤルデータをROM8に記憶されているプログラムに従い操作・表示部6に表示させ、その中から任意のダイヤルデータを使用者に選択させるダイヤルデータ選択手段としての機能も有する。また、無線制御部3は、従来と同様の機能に加え、主制御部7で選択されたダイヤルデータを、無線部2による無線送信にて相手方の携帯移動端末装置へ送

信してその不揮発性メモリ 1 0 に保存できるように、無線部 2 を制御するダイヤルデータ転送手段としての機能も有する。

【0012】次に、上記構成による動作について説明する。発呼元の携帯移動端末装置 A において、操作・表示部 6 を操作して不揮発性メモリ 1 0 に記憶されているダイヤルデータを表示させ、その中から任意の 1 又は複数のダイヤルデータを選択すると、選択したダイヤルデータのみが無線制御部 3 の制御により無線部 2 から無線送信され、基地局 C を経由して発呼先の携帯移動端末装置 B に受信される。

【0013】ダイヤルデータの送信は、通話の途中に操作・表示部 6 を操作して不揮発性メモリ 1 0 に記憶されているダイヤルデータを表示させ、その中から任意の 1 又は複数のダイヤルデータを選択して転送操作を行っても、可能な構成とすることができる。

【0014】発呼先の携帯移動端末装置 B では、基地局 C から送信されてきたダイヤルデータを無線制御部 3 の制御により無線部 2 で受信し、ROM 8 に記憶されているプログラムに従い主制御部 7 にて不揮発性メモリ 1 0 に記憶する。従って、事後、発呼先の携帯移動端末装置 B では、発呼元の携帯移動端末装置 A から転送されたダイヤルデータを利用してダイヤルできることになる。

【0015】基地局 C との間で特別番号が決められているような場合には、その特別番号を操作・表示部 6 で入力してダイヤルし、通話状態としてから、不揮発性メモリ 1 0 に記憶されているダイヤルデータを表示させ、その中から任意の 1 又は複数のダイヤルデータを選択して転送操作を行うと、そのダイヤルデータを基地局 C の記憶部 1 1 に記憶させることができる。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、携

帯移動端末装置の本来の無線通信機能をそのまま利用して、携帯移動端末装置間でダイヤルデータの転送が可能になるため、従来のように口頭にて 1 件毎に相手先に伝えて相手側でいちいち登録していたときの手間とミスがなくなるので、ダイヤルデータ転送効率の向上と正確性の確保が図れる。

【0017】また、修理等の保守時に必要であったパーソナルコンピュータ等の外部装置と転送用ソフトウェアが不要となるので、操作性及び保守性の向上、並びにコストダウンが図れる。

【図面の簡単な説明】

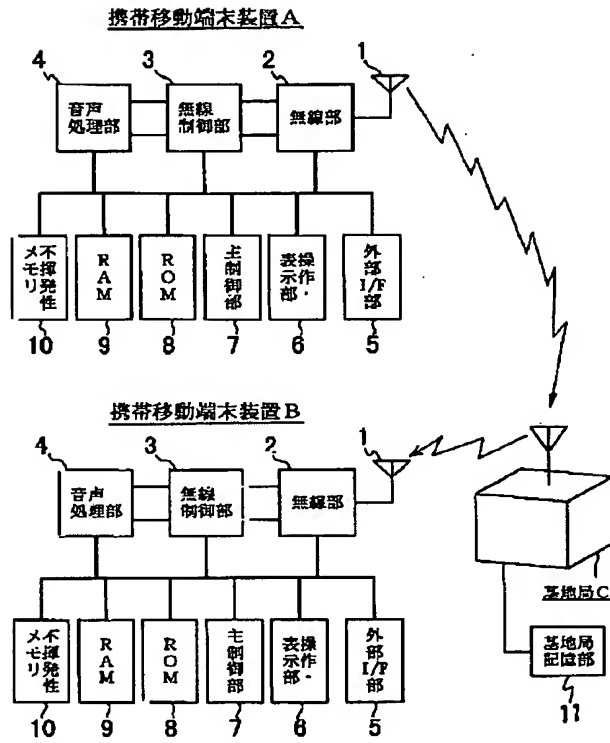
【図 1】本発明による携帯移動端末装置にてダイヤルデータ転送を行うシステム構成例を示すブロック図である。

【図 2】従来におけるシステム構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- A 発呼元の携帯移動端末装置
- B 発呼先の携帯移動端末装置
- C 基地局
- 1 アンテナ
- 2 無線部
- 3 無線制御部
- 4 音声処理部
- 5 外部インターフェース部
- 6 操作・表示部
- 7 主制御部
- 8 ROM
- 9 RAM
- 10 不揮発性メモリ
- 11 基地局記憶部

【図1】



【図2】

